

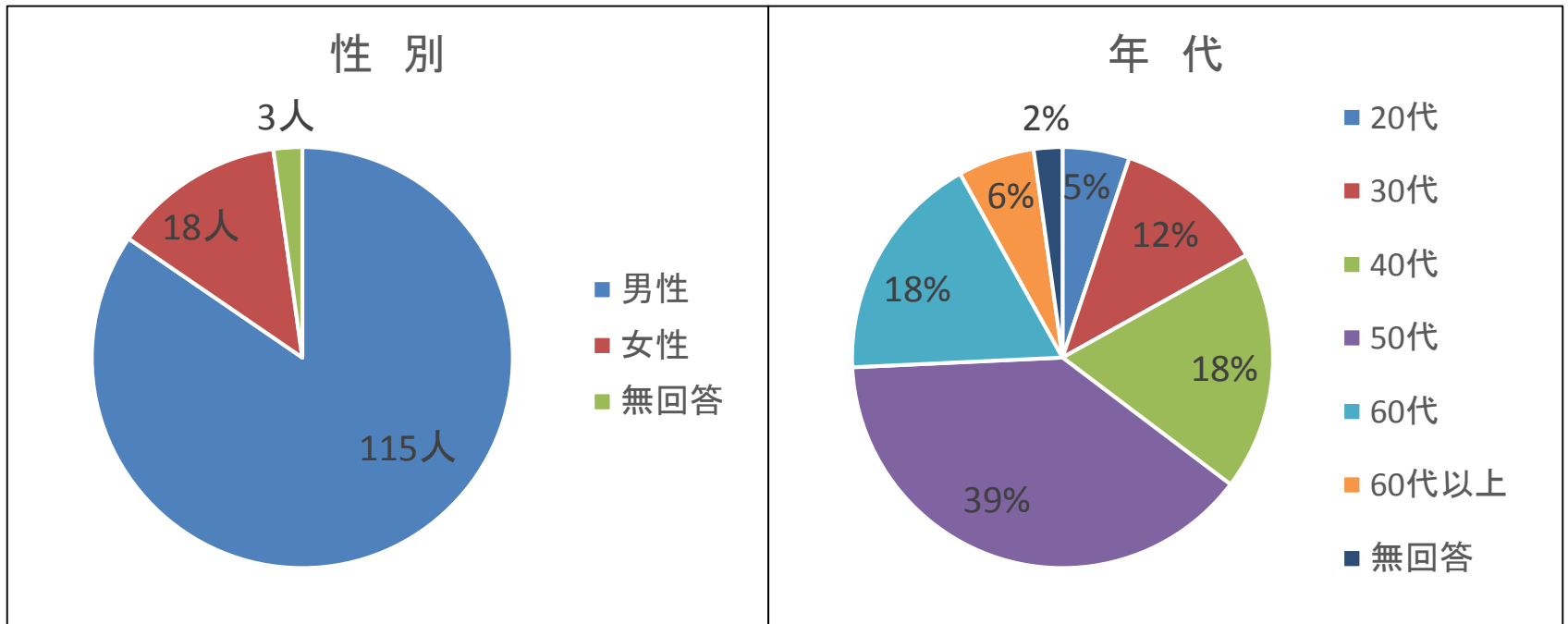
シンポジウム 「多様な主体の協働による 大島干潟保全を目指して」

アンケート結果

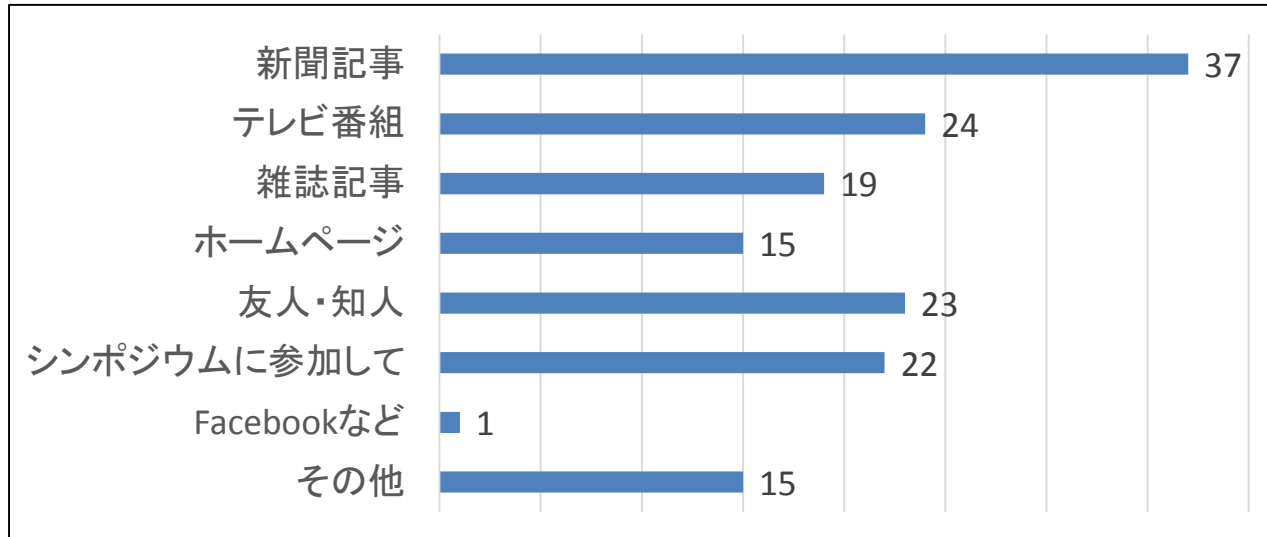
日時：平成28年10月18日(月)13:30～16:20

会場：山口県周南総合庁舎2Fさくらホール

1. 最初にご自身のことについてお答えください

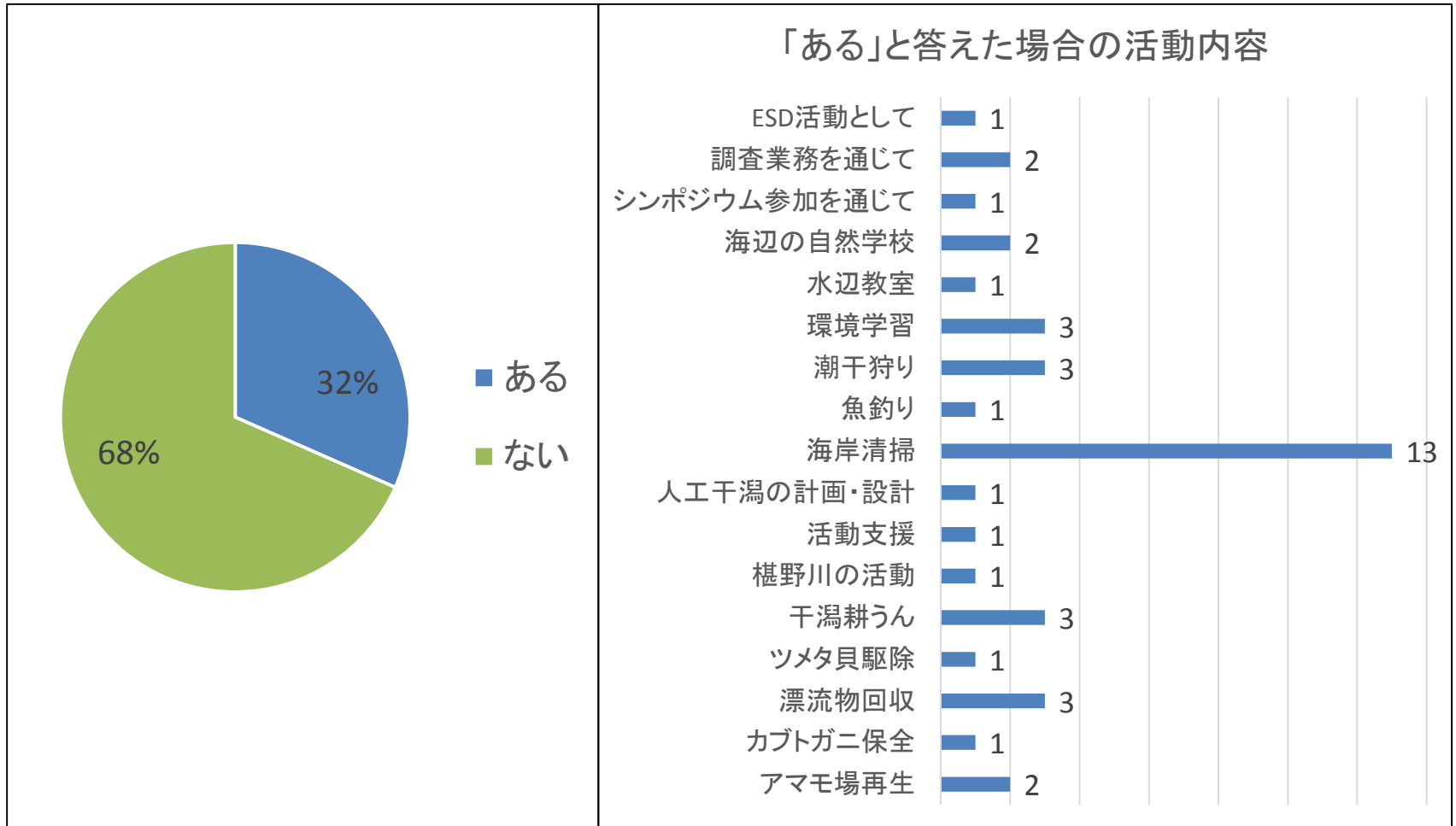


2. あなたは「里海:さとうみ」の言葉をご存知でしたか？ 知ったきっかけになったものすべてに印をお付けください

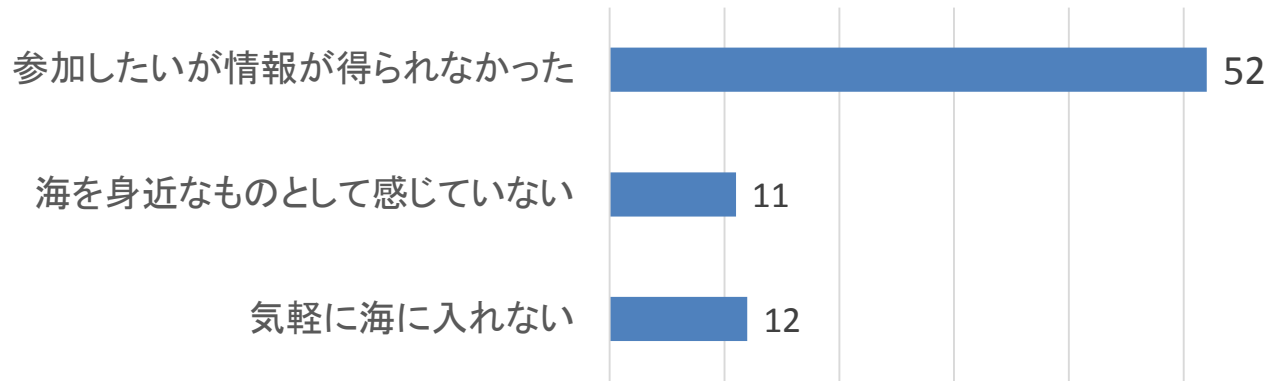


その他意見	<ul style="list-style-type: none">・大学で・地元会議・ポスター・パンフレット・市広報・業務上・その他シンポジウム・知らなかった
-------	---

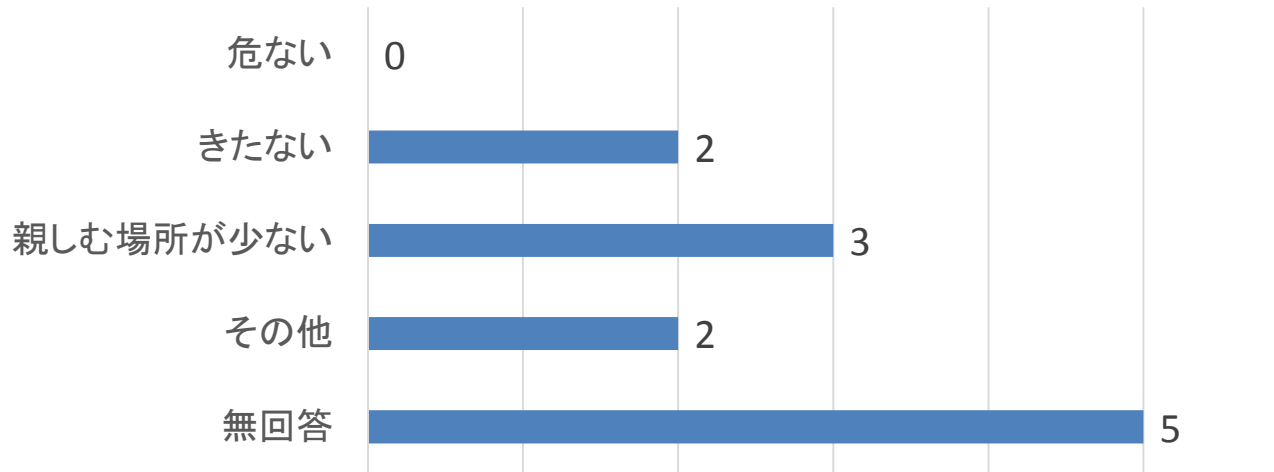
3. あなたは「里海」活動に参加したことがありますか？



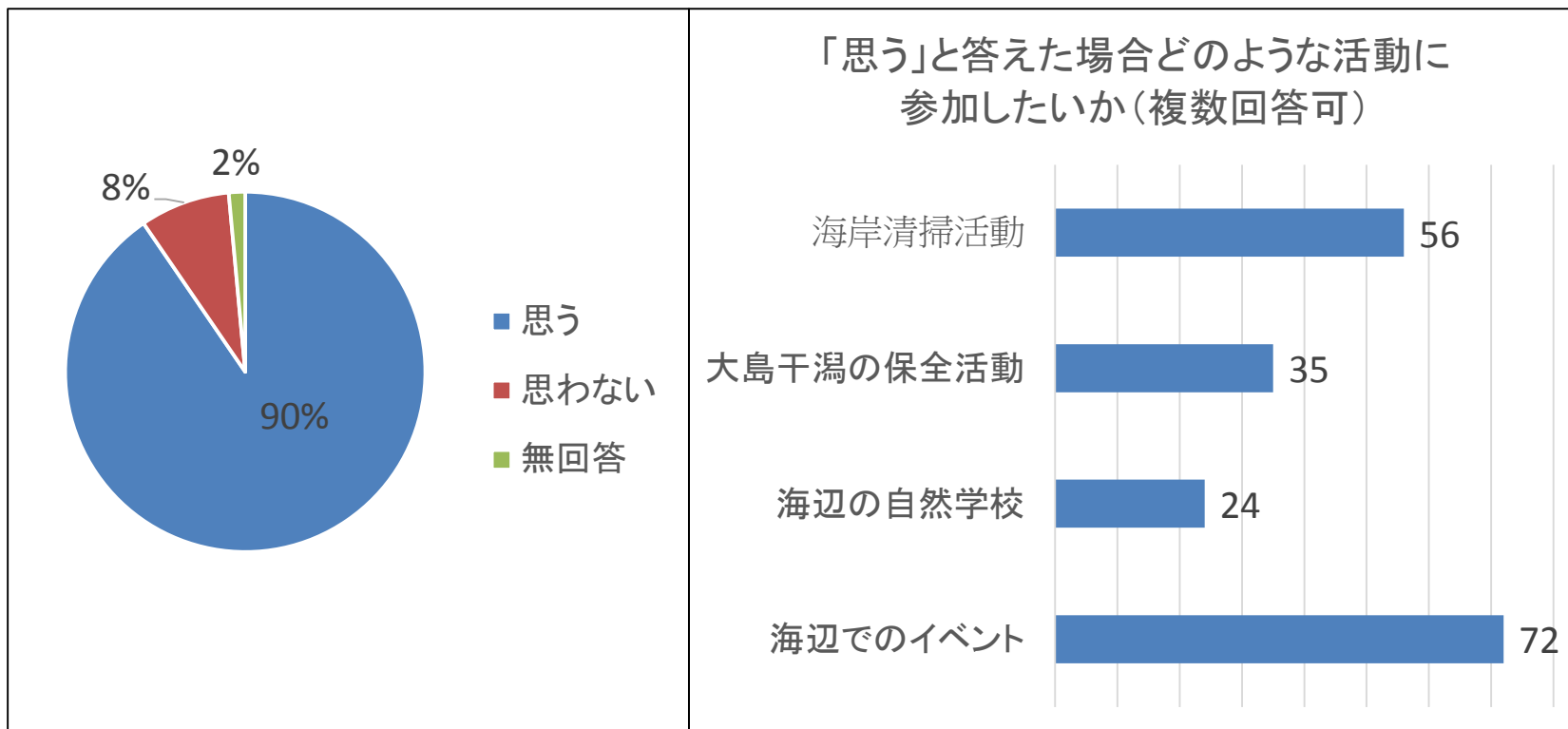
「ない」と答えた場合の理由(複数回答)

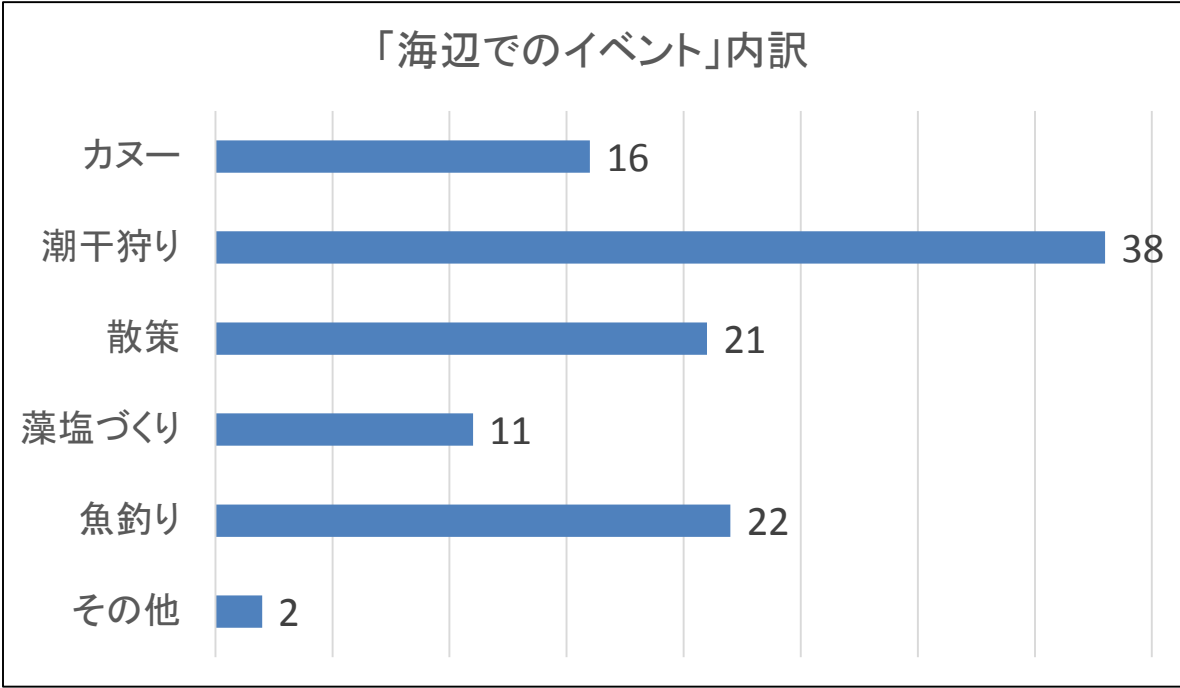


「気軽に海に入れない」内訳



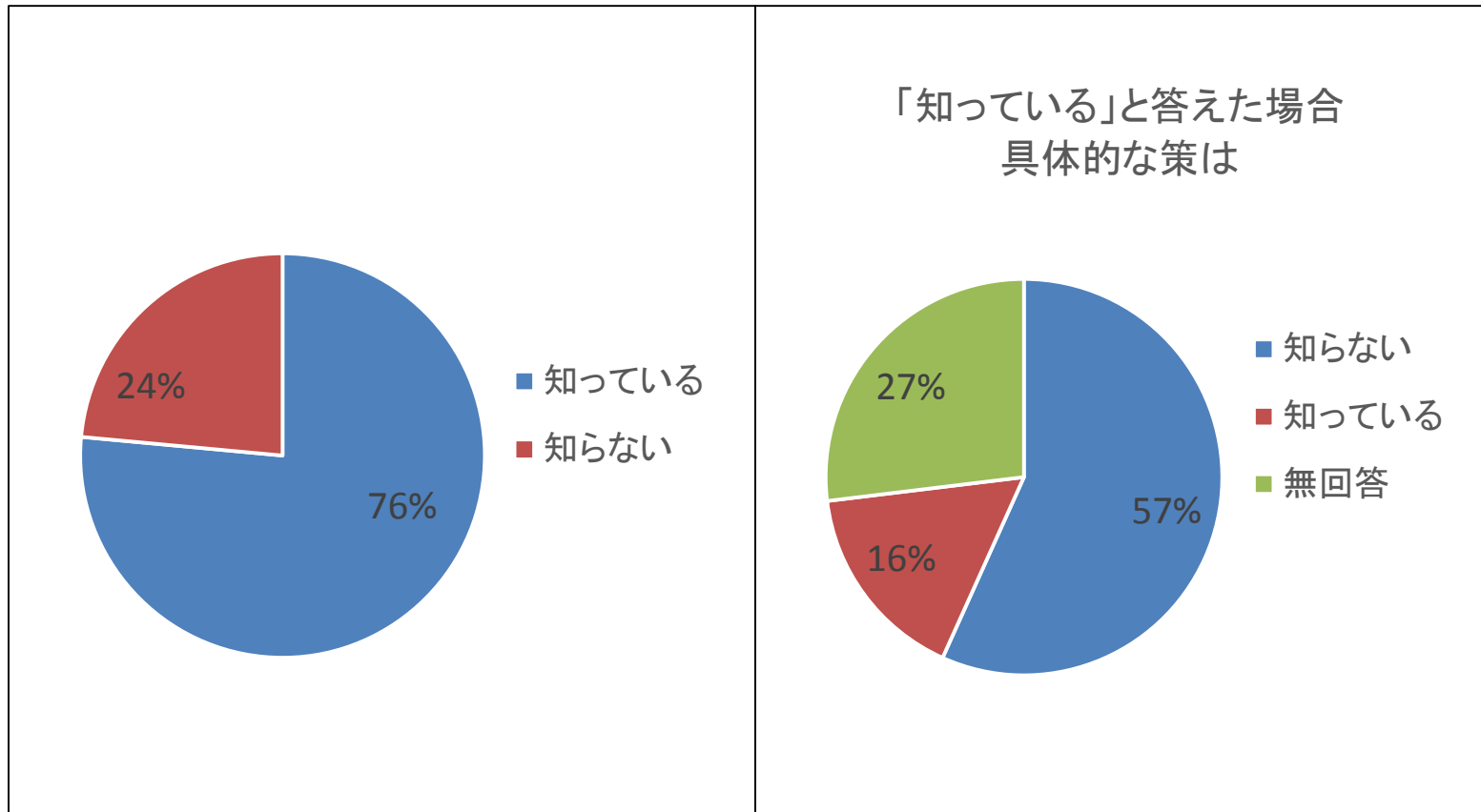
4. あなたは機会があれば「里海」活動に参加してみたいと思いますか？ (複数回答可)



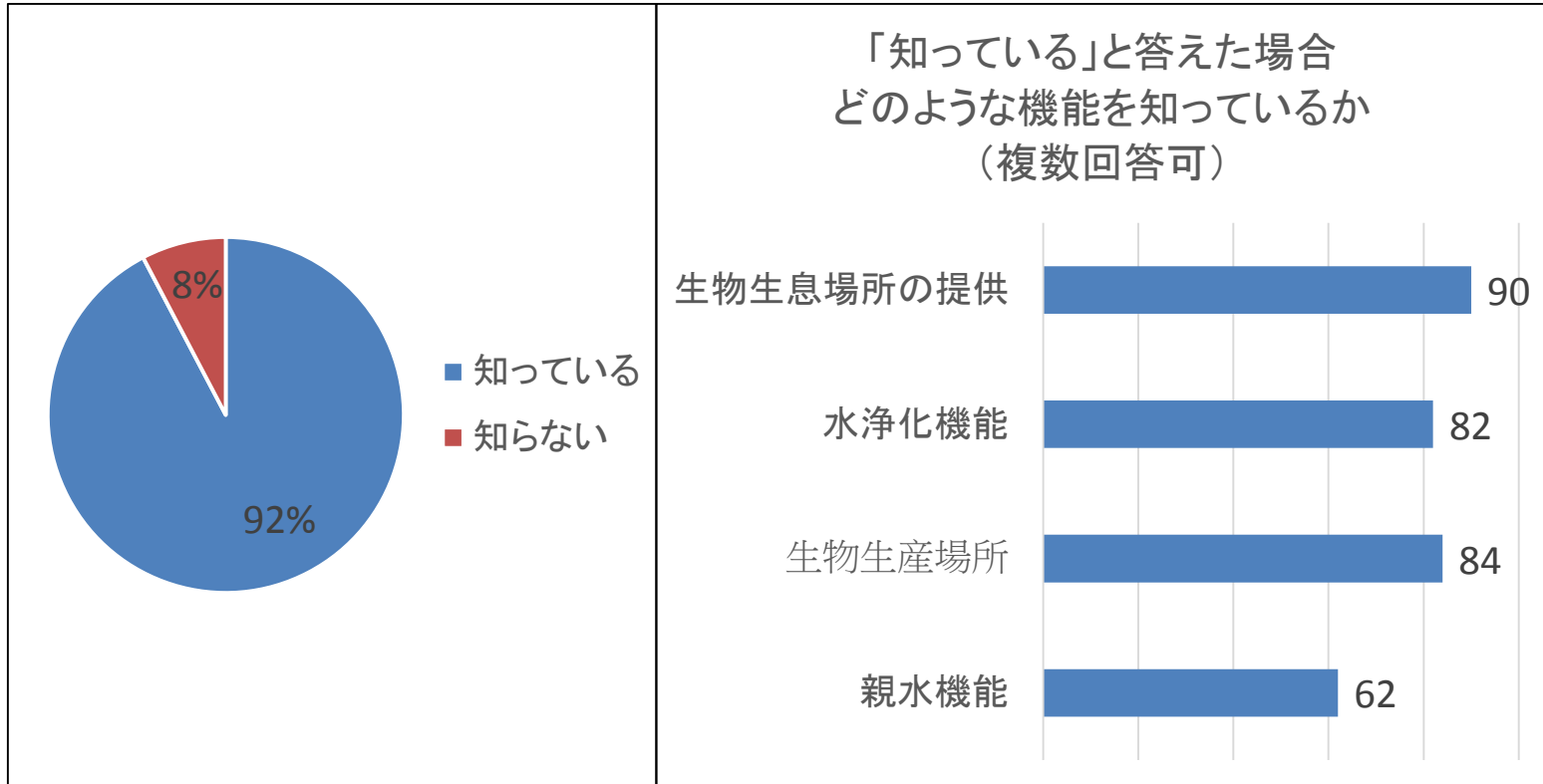


その他意見	<ul style="list-style-type: none">・子供と散歩・ネイチャーゲームリーダー
-------	--

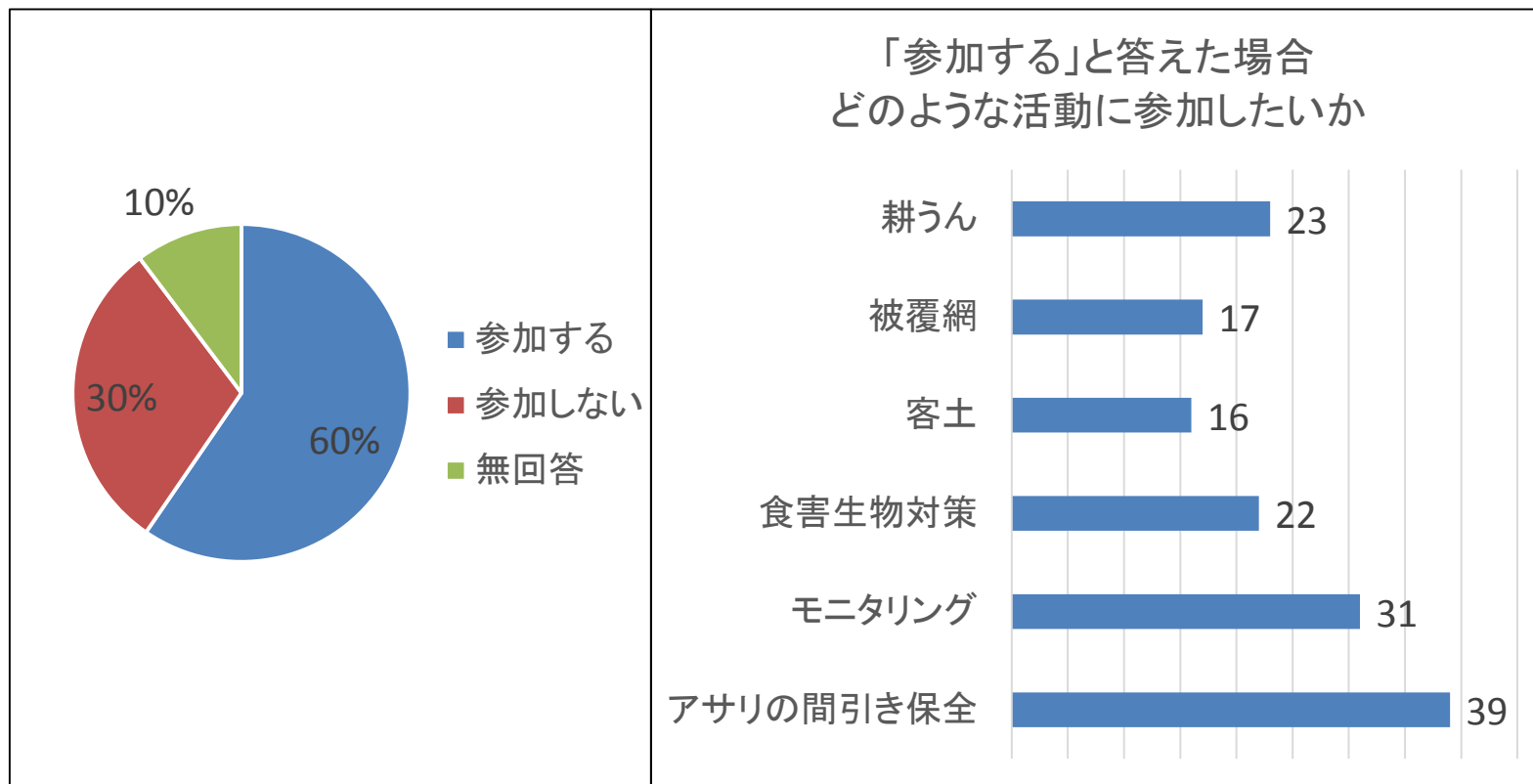
5. あなたは地球温暖化の原因と言われているCO₂(二酸化炭素)排出対策に海(海藻)が役立つことはご存知ですか？
(海が吸収源となる)



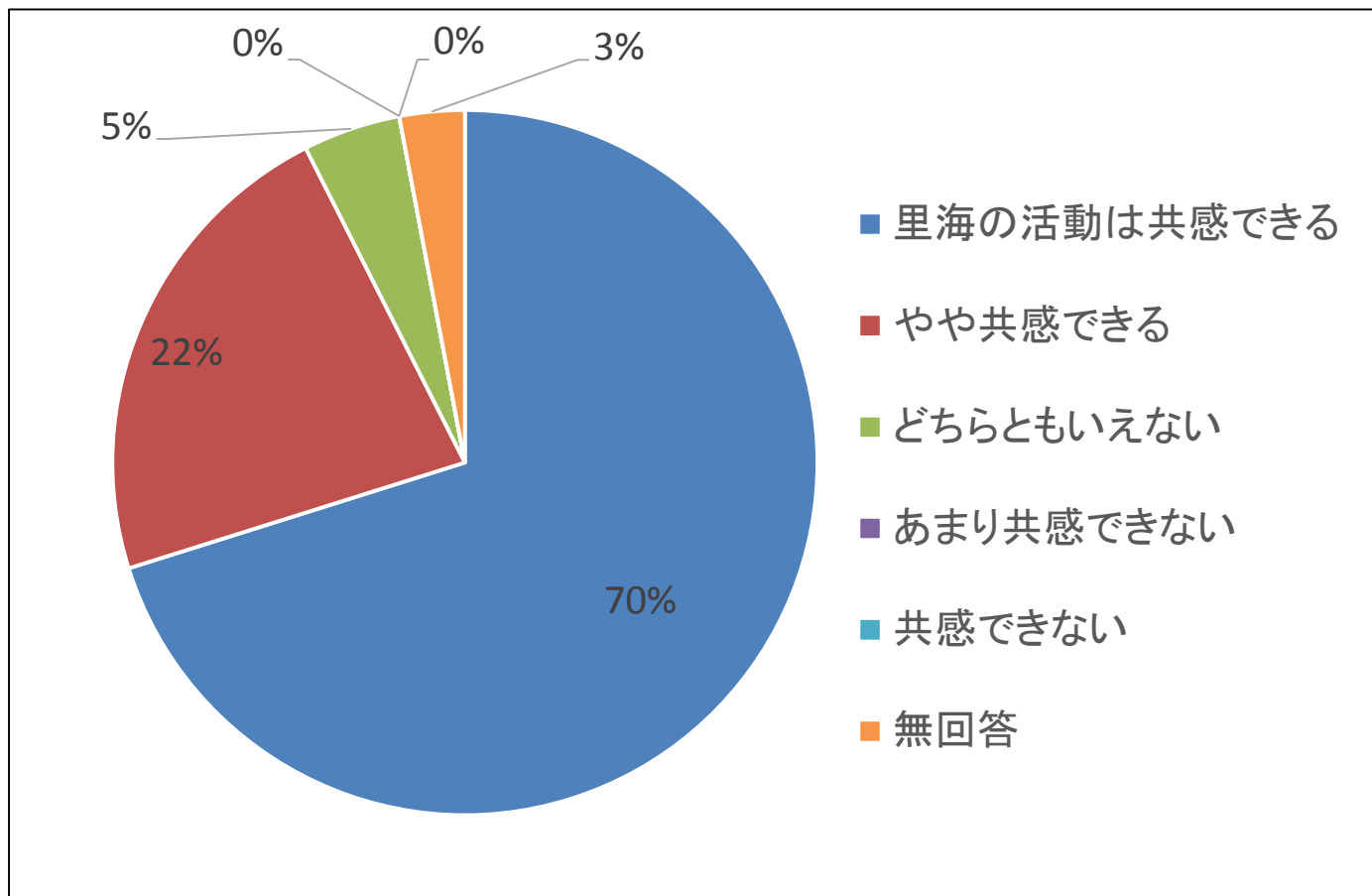
6. あなたは干潟の役割について知っていますか？



7. 大島干潟造成に伴い、干潟の保全活動が必要となってまいります。どのような活動に参加したいと思いますか？ (複数回答可)



8. 講演の結果、「里海」の活動にあなたのお気持ちにもっとも近いものを選んでください。



9. その他(ご意見があれば自由にご記載ください)

協働に関するもの	<ol style="list-style-type: none">1. 活動に参加したいが参加に至る情報が得られない2. 容易に参加できる仕組みが欲しい3. 漁業者が5人とお聞きし、いろんな立場の人が共に行うことが大切4. 地球温暖化防止推進員としてCO2削減対策に繋がると考えている5. 活動組織のリーダーを明確にする必要がある。6. 漁業者のための協働では保全活動の展開には限界がある7. 愛情をもって干潟を育てていくかが大切8. 周知が不足している9. 海との繋がり、海離れなど一度離れた人に戻すのは難しい10. 海を身近に感じられない
干潟に関するもの	<ol style="list-style-type: none">1. 干潟が造成されたが身近なものと感じられない2. 干潟の生産性の大きさ、保全の大切さが良くわかった3. 人工干潟はそのままにしておくとうなるのか？4. 早く地域住民が自由に出入りできるようにしてほしい

基調講演に関するもの	<ol style="list-style-type: none">1. 興味深く、非常に良かった2. もっと市民に聞いてもらいたい
パネリストに関するもの	<ol style="list-style-type: none">1. 8人の方々の説明が非常に判りやすかった2. それぞれの、立場での取り組みが紹介され、意義ある講演メドレーであった3. シンポジウムとしては市民受けする取組であった4. パネルディスカッションの発表時間が短かすぎるので少なくし、総合討論を長くした方が良い
行政に関するもの	<ol style="list-style-type: none">1. 藻場育成、藻場造成に対する山口県及び周南市の取り組みは全国的にみても遅れている2. 地元企業にも何かお役に立てるものは無いかと考えている